

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】令和2年9月24日(2020.9.24)

【公表番号】特表2019-526552(P2019-526552A)

【公表日】令和1年9月19日(2019.9.19)

【年通号数】公開・登録公報2019-038

【出願番号】特願2019-508193(P2019-508193)

【国際特許分類】

C 07 C 45/42 (2006.01)

C 07 C 49/67 (2006.01)

C 07 C 49/697 (2006.01)

C 07 B 61/00 (2006.01)

【F I】

C 07 C 45/42

C 07 C 49/67

C 07 C 49/697

C 07 B 61/00 300

【手続補正書】

【提出日】令和2年8月13日(2020.8.13)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

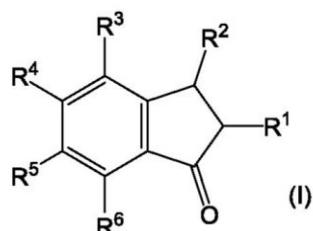
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

式(I)で表される化合物を調製する方法であって、

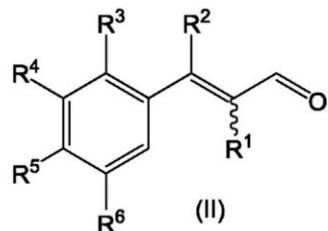
【化1】



以下のステップを含み:

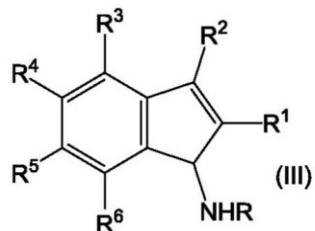
a) アミノ化合物H₂NRの式(II)で表される化合物への添加

【化2】



続いて式(III)で表される化合物への環化

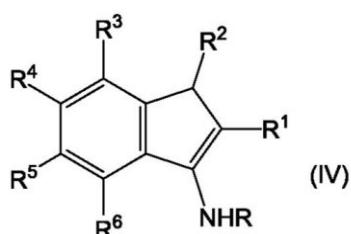
【化3】



式中、波形の結合は隣り合う二重結合の不特定の配置を示し、アミノ化合物 H_2NR は、アルキルアミド、スルホンアミド、カルバメートからなる群から選択され；

b) 式 (III) で表される化合物の式 (IV) で表される化合物への異性化；

【化4】



c) 式 (IV) で表される化合物の式 (I) で表される化合物への加水分解；式中、式 (I) 、 (II) 、 (III) および / または (IV) で表される化合物において、

R^1 は、メチル、エチル、エテニル、直鎖、分枝または環状 C 3 ~ 10 アルキルまたはアルケニル基、またはフェニル基を表し、それらは任意に置換されていてもよく；および R^2 、 R^3 、 R^4 、 R^5 および R^6 は、各々独立して水素原子、メチル、エチル、エテニル、メトキシ、エトキシ、エテノキシ、直鎖、分枝または環状 C 3 ~ 10 アルキル、アルケニルまたはアルコキシ基、ハロゲン原子またはフェニル基を表し、それらは任意に置換されていてもよく、および

当該方法がワンポット手順で行われる、前記方法。

【請求項 2】

アミノ化合物 H_2NR がアルキルアミドであり、 R が $-\text{CO}\text{Me}$ または $-\text{COEt}$ を表す、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

アミノ化合物 H_2NR がスルホンアミドであり、 R が $-\text{SO}_2\text{Me}$ 、 $-\text{SO}_2\text{Et}$ または $-\text{SO}_2\text{PhMe}$ を表す、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 4】

アミノ化合物 H_2NR がカルバメートであり、 R が $-\text{CO}_2\text{Me}$ または $-\text{CO}_2\text{Et}$ を表す、請求項 1 に記載の方法。